中学生が考えた復活の「戸倉っこかき」に自信

避難誘導 判断の連続

地震発生当時 南三陸の現場では

ホテル女将 心折れた住民を励ます

会館の職員 来館者とどめ犠牲防ぐ

南三陸ホテル観洋女将の阿部憲子さん

高野会館の屋上への避難誘導に残った津波の痕跡を確認する生徒たち

若手漁師集い養殖方法研究

いかだ減らし品質向上

迫る地震、津波 素早く正しく動ける？

考える意義学ぶ

南三陸311メモリアル ラーニングシアターで聞きわけた一般の来場者と語り合う中学生記者たち

問いて！ 知って！ 同世代へのメッセージ

ウルスラ新聞

聖ウルスラ学院英智中

仙台市若林区一本杉町

生徒：188人

「震災伝承新聞」を発行しました！

中学生たちが作り上げた「震災伝承新聞」は、こちらからご覧いただけます。

震災伝承新聞完成レポート② ／聖ウルスラ学院英智小・中学校→南三陸町

中学生がつなぐ記憶と教訓

仙台圏3校の中学生が東日本大震災の被災地で新聞記者として取材を行い、
その成果を河北新報別刷紙面「震災伝承新聞」として2月11日に発行。
聖ウルスラ学院英智小・中学校では、記事を製作した6人による校内発表会が行われました。

中学生に託す伝承のバトン

今できることプロジェクト 2024-2025 学び直しと伝承

取材で得た学びの成果を共有

2月27日、聖ウルスラ学院英智小・中で震災伝承新聞の完成報告会が行われ、中学生記者が5年生から9年生までの275人と取材成果を共有しました。全員で震災犠牲者に祈りを捧げた後、取材に参加した生徒が南三陸町で得た気づきを当日の画像を交えながら述べました。

全てのライフラインが寸断した過酷な状況下、600人の避難者ほか現場対応の警察・医療従事者ら400人も受け入れ、被災後の前線基地の役割を果たした「南三陸ホテル観洋」の女将、阿部憲子さんの講話と副支配人の阿部裕樹さんの案内で高野会館など町内を巡った「語り部バス」で被災の現場に身を置いた得がたい経験を紹介。「戸倉SeaBoys」メンバーの漁船で見学した日本初の国際認証制度を獲得したカキ養殖施設では、どん底にあっても前を向き、力を合わせて努力する大切さを学んだことを報告。大災害に遭遇した時、判断を迫られる命を守る行動について語り合うラーニングプログラムに参加した「南三陸311メモリアル」で、防災意識を高め合うことができた成果を披露しました。

発表を聞いた生徒からは、自然災害が多い昨今、備えの大切さを改めて感じたことが述べられました。

講堂に集まった5～9年生の前で中学生記者が発表

「震災伝承新聞」は、宮城県内184の中学校へ配布したほか、石川県輪島市立門前中、愛媛県今治市立近見中、兵庫県西宮市立浜脇中などで教材として活用されました。各地の震災伝承施設、仙台市図書館、そなエリア東京、宮城県大阪事務所などでも配布しています。

震災伝承新聞の送付をご希望の学校、団体、施設等は事務局までお問い合わせください。
［お問い合わせ］ 今できることプロジェクト事務局（河北新報社営業部） tel 022-211-1318（平日10:00～17:00）

今回参加した中学生記者全員の「声」を今できることプロジェクトホームページに掲載しています。

中学生記者

鈴木 悠真さん（9年）

被災地で生まれ育った一人の若者として、震災の話を聞き、それを同世代に語り継ぐことができたことを誇りに思います。この先も決して風化させず、震災の記憶を胸に刻み、次世代への教訓として守り抜きたいと思います。

発表会参加者

三塚 勇輝さん（7年）

災害の被害を完全に無くすことはできませんが、例えば、現地を訪れたり、お話を聞いたりすることで災害のおそろしさを学び、地震や津波への備えをするなど、自分でできることはたくさんあると思いました。

これまでの活動内容や新着情報は「今できることプロジェクト」特設HPをご覧ください。 www.kahoku.co.jp/imadeki/ 河北 今できること 検索 facebookページもあります。

私たち賛同企業も、再生と伝承のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトに賛同し、推進していきます。

IHI／アサヒビール 東北支社／石巻市震災遺構門脇小学校・大川小学校／NTTデータ東北／花王／キリンビール 東北統括本部／ケーズデンキグループ・デンコードー／劇団四季／光輝ビルテクノス／神戸製鋼所東北支店／サッポロビール／サントリー 東北営業本部／JFEスチール仙台製造所／JTB 仙台支店／住友不動産 東北事業所／生命保険協会 宮城県協会／仙台環境開発／DICグラフィックス／伝承千年の宿 佐勘／東亜道路工業東北支社／東伸環境／日本製紙／日本製紙クレシア／日本損害保険協会／日本郵便 東北支社／ネクステージ／野村不動産 仙台支店／東日本油化工業／平松剛法律事務所／藤崎／富士フイルムグラフィックソリューションズ／みちのく企業グループ／三井住友海上／三井不動産／三菱地所グループ／三菱重工機械システム／宮城県建設業協会／宮城県自動車整備振興会／宮城交通／みやぎ生協／明治安田生命 仙台支社／リコージャパン 宮城支社（順不同）

◎後援／宮城県、仙台市、石巻市、松島町、南三陸町、山元町、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

企画・制作
河北新報社
営業局（今できることプロジェクト事務局）
［お問い合わせ］
今できることプロジェクト事務局（河北新報社営業部）
tel 022-211-1318